



会長	遠藤光則	佐々木崇
幹事	猪股育夫	小竹秀敏
会報	佐藤敬喜	佐々木崇
	菅原文之	小竹秀敏
	菅野佳旦	佐藤静市
例会場	ホテルサンシャイン佐沼	☎22-8180 FAX22-0327
例会日	毎週木曜日 12:30~13:30	
事務所	ホテルサンシャイン佐沼	☎22-8180 FAX22-0327

第2378回例会 2012. 11. 29 (18:30~) No.20

本日の出席率

- ・本日の出席率 70.59%
- ・前回確定出席率 74.51%

ニコニコボックス

- ・遠藤光則会長 今年度5回目の夜間例会です。宜しくお願いします。佐藤静市会員のスピーチに期待します。
- ・熊谷敏明会員 本日54回目の誕生日を迎えました。
- ・猪股育夫幹事 佐藤静市会員のスピーチに期待して。12月9日、大宮シティRC桜植樹があります。沢山の会員の参加をお願いします。
- ・佐藤静市会員 本日は、私のスピーチです。大変お粗末なスピーチになりますが、よろしくお祈りします。
- ・鈴木彦太会員 まじめな静市社長、スピーチを楽しみにご期待申し上げます。
- ・阿部泰彦会員 佐藤静市会員のスピーチご苦労様。
- ・阿部賢悟会員 佐藤静市会員のスピーチ、勉強させていただきます。
- ・菅野幸一郎会員 本日のスピーチ、佐藤静市会員にご期待申し上げます。
- ・菅原文之会員 佐藤静市会員のスピーチを心待ちにしています。期待して居ます。
- ・佐々木源悦会員 佐藤静市会員のスピーチに期待します。
- ・佐々木功一会員 佐藤静市会員のスピーチ、大いに期待いたします。
- ・富士原裕子会員 今日のスピーチ楽しみに致しております。
- ・高田次雄会員 めっきり寒くなりました。ご自愛を。スピーチ期待しています。
- ・布施孝之会員以下 佐藤静市会員のスピーチに期待。

- 佐々木崇会員 千葉吉男会員 山田直志会員
- 菅原慶一会員 高橋利光会員 武川毅会員
- 森田一史会員 高橋義文会員 岩渕栄市会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 遠藤光則会長

今年度5回目の夜間例会です。まだまだ夜間の通常例会は定着しておりませんが、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

先週は余目RCの方々が来訪され、友好クラブについて色々とお話をさせていただきました。友好は既に始まっておりますが、来年3月~5月位に出来れば佐沼クラブの指導のもとで、南三陸町のホテル観洋あたりで締結式を実施していただければ、余目RCからお話がありました。理事会等で検討しそれに向けて進めていきたいと思っております。9名のうち5名の方が宿泊され、2ヶ所で交流の場を設け私がご一緒させていただきました。工藤隆会長はじめ3名の方と私と4名でゴルフをしました。

11月25日(日)、佐沼クラブも後援しております「ときめき市民コンサート」が開催され、大変素晴らしい歌声を聞いて参りました。又、昨日午後から南三陸町に阿部賢悟復興支援特別委員長、阿部泰彦副委員長と3人で来年開催されます川崎大師RC40周年記念事業の支援について打ち合わせをしに行き参りました。南三陸町側からプロジェクター、大型スクリーンの要望がありましたので、川崎大師RCの方へ連絡をさせていただきました。我々も後から応援したいと思っております。

幹事報告 猪股育夫幹事

- ・ガバナー事務所より、RI国際大会の案内
- 日時 2013年6月23日~26日
- 場所 ポルトガル・リスボン

- ・登米市社会福祉協議会より
- 第44回在宅心身障害児者クリスマス会の案内
- 日時 12月16日(日) 10:00~
- 場所 ホテルサンシャイン佐沼

各委員会報告

- ・親睦活動委員会 (高橋利光委員長)
- クリスマス会のお知らせ
- 日時 12月20日(木) 18:30~ (受付18:00~)
- 場所 ホテルサンシャイン佐沼
- ※出欠表を回しております。よろしくお祈り申し上げます。

今週のスピーチ

「小・中学校の生徒間、いじめ問題に思う」

佐藤静市会員

最近、新聞紙上等々ニュースで聞きます、小・中学校の生徒間のいじめについて、昨今心に刺さっているものがありましたのでまとめてみました。

滋賀県大津市の男子中学生のいじめが原因の自殺！この事件を聞いたとき、またかとの思いと同時に、この生徒の未来ある命を奪ったいじめをなぜ未然に防げなかったのかと残念でなりません。その後のテレビニュース、新聞報道、関係者の記者会見を聞いてみると、辻褄合わせに四苦八苦、そして責任転嫁で終止符を打ったように私には感じられました。失われた尊い一命がある中でなんとという大人社会の醜さだろうと感じました。

さて、この社会の現状の中で、我々世代は家族の中に小学生、中学生、あるいは高校生の孫を持つ年代となりました。私事ですが、私は3人の子を持って、初孫が誕生したのが20年前です。今では7人の孫がいます。その頃から子供は我が家の宝だと思うようになりました。子育ては手抜きをしないようにと常々話しております。他の家を訪問した際、ついそのような会話をすることがあります。

いじめについては、最近、特に新聞、テレビ等で取り上げられているのを目にします。私の想像ですが、私は終戦の年1945年(昭和20年)生まれです。その10年前後、先に小・中学校生活を終えた先輩方においては、戦時中ということもあり落ち着いて勉学に励まれる環境でもなかったとも聞いております。そういった状況の中でもありますから当然いじめよりも「お互いに助け合う心」が働いて、いじめ等はなかったかとも思いますが、いかがだったのでしょうか。後にどなたかお聞きしたいとも思っています。

いじめの原因について考えられること。私達の育つ時代(約55年位前)を振り返ってみますと、新学年の始めに転校生が来ます。担任の先生は、生徒に当然のことながら親切にするようにと注意をします。しかし、10日や2週間はお客扱いですが、そのうち何かで歯車が狂うと、言葉によるコンプレックスからの原因等で若干のいじめなるものが出た記憶があります。

最近では性格の弱い者をターゲットにしていじめを行ったり、自分のストレス発散や自分の心を癒すとい

うケースもあるそうです。周囲の無関心が事を大きくしていじめを加速させる。あるいは、中傷、からかいからも始まることもあります。いじめの原因は千差万別であると思います。

自分がいじめられていることを周囲や親に知られたくないので、最初(初期)は、学校に変わりなく登校するが、それが不登校にまでなると、かなりの時間が経過し、根深いものになっている。その前にクラスの友達から勇気を持って担任に知らせるのが最良のことだと思いますが、仕返しを恐れて話すことが出来ず解決が長引く。家族に於いても、食事の際の様子、兄弟の会話の様子、自分の部屋で過ごす時間の長短等で、親は子供が悩んでいる気配に気付かなければならないと思います。

他の例に於いても、学校を休んだらいじめがばれるので学校に行っていた。そうしているうちに精神的に追い詰められて自殺に至ったと。

しかし、いじめた方の加害者は、どんなに厳しい取り調べを受けても反省はしているのでしょうか、加害者の方が精神的にバランスを崩し自殺をする等に至った事例はないそうです。遊びの延長線上の出来事だと思っているのではとも解釈されます。

しからば、いじめられたらどう立ち向かえば良いのか。大切なことは自分だけを責めないこと。仲の良い友達、心ゆるせる友達に助けを求めるといった方法。あるいは、学校においては、死よりも生きることの大切さを教えることと私は思うのですが……。私共の育つ時代には道徳の時間がありました。今でも道徳に等しい時間をとっているとは思いますが……。そして、生きていくヒントの答えは学校にあるとも言われます。例えば、先生は自殺をしないで済むことを色々とお祈りしていただくことが大事だと思います。

学校とは何か。

今から140年程前(明治5~7年頃)に西洋から学校教育制度が入ってきました。その前の日本は、寺子屋制の学問を学ぶ場であったと聞きました。学校はその後、戦後20年前後から学歴社会に入りました。最近に於いては「ゆとり教育」での弊害か、おちこぼれ、学力低下とアンバランスが生じています。順位が優先し、学校が教育工場とまで言われるようになりました。学校の教育の在り方を変える必要があると、評論家のひとりはいいます。

今年の3. 11の大震災でも多くの子供や若い人達が犠牲となりました。当佐沼RCでも地域青少年少女の健全育成に力を入れることを目標にしている新世代委員会があります。やがては、日本の宝となりうる、あるいは、国の発展の原動力となる子供達を、いじめによってこれ以上失うことのないよう強く感じる昨今です。それには学校ばかりでなく家庭環境を明るく整え、学校との連携を密にすること、そして、子供達にも勇気あるいじめ防止の発言が出来るよう、若い世代の親達が行き届かない部分を、我々世代の役割として本腰を入れて、又、今日からでも自分が孫達の何かの教えの役に立てば、そのひとつの家庭家庭から非行にはしる、いじめにはしる子供を出さなければ、それが防止になるのではないかと思います。